入学年度・開講所属	2024(R6)・工学部		科目ナンバリング			
科目名(英訳)	技術経営論(Management of Technology)　(MNG-39050J2)					
担当教員	ウ　アテイ					
科目区分		対象学年	学部3年次	単位数	2単位	
講義形式	講義	受講人数	なし	開講時期	後期	
キーワード	技術経営、技術イノベーション、経営戦略、価値創造					
授業の概要・達成目標	＜授業の概要＞ 昨今、高い技術力による性能のよい製品をつくる日本の製造業は、グローバル経済において競争劣位の状況である。その理由は、技術経営的な戦略が明確でないと考えられている。本授業では、技術経営の基礎的な概念・理論を学び、それらを現実にどのように適用できるかを理解する。この授業では，国内外の主要製造業の事例研究から、将来の日本製造業の競争優位について考える。 ＜到達目標＞ ・技術経営の基礎的な概念・理論を理解する。 ・受講生の専門分野（工学）的な視点から企業の経営を考える能力を身につける。					
授業内容	第1回.　MOT(Management of Technology)とは 第2回.　MOTにおける価値創造と価値獲得(1) 第3回.　MOTにおける価値創造と価値獲得(2) 第4回.　MOTにおける価値創造と価値獲得(3) 第5回.　コア技術戦略とイノベーション(1) 第6回.　コア技術戦略とイノベーション(2) 第7回.　コア技術戦略とイノベーション(3) 第8回.　組織構造とマネジメント(1) 第9回.　組織構造とマネジメント(2) 第10回. 組織構造とマネジメント(3) 第11回. 組織構造とマネジメント(4) 第12回. 事業システムと顧客価値創造(1) 第13回. 事業システムと顧客価値創造(2) 第14回. 事業システムと顧客価値創造(3) 第15回. まとめ					
授業形式・形態及び授業方法	講師オリジナルの講義資料を使用し講義形式で行う。毎回授業の最後に簡単なレポートを提出してもらう。					
教材・教科書	講師オリジナルの講義資料を毎回配布する。					
参考文献	講義でその都度紹介する。					
成績評価方法及び評価基準	11回以上出席した学生のみ成績判定を行う。講義・ディスカッションの参画50点、チームワークレポート50点で、合計60点以上の得点で合格とする。					
必要な授業外学修	必要に応じて授業で解説したフレームワークに基づき個人学習を行ってもらう。					
履修上の注意	ー					
関連科目(発展科目)	経営マネジメント学、技術イノベーション論、マーケティング論、ベンチャー企業論			実務家教員担当	ー	
その他 学習・教育目標	地域マネジメント工学コース　2(M)-A、2(M)-B、2(M)-C					
その他 連絡先・ｵﾌｨｽｱﾜｰ	ウ　アテイ教員室（3号館5階）、電話：0157−26−9400 メール：yuyating@mail.kitami-it.ac.jp					
その他 コメント	ー					